

科目区分：総合科学

授業科目名	環境と文化					学期	曜日	校時
英語名	Environments and Cultures							
担当 教官名	松田 雅子他	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	金曜日	校時
担当教官名								
吉田雅章（環境科学部）若木太一（環境科学部）松田雅子（環境科学部）正木晴彦（環境科学部） 佐久間正（環境科学部）連清吉（環境科学部）高實康稔（環境科学部）池田幸恵（環境科学部） 福島邦夫（環境科学部）								
授業のねらい・内容・方法								
<p>21世紀は「文化の時代」とも「環境の時代」とも言われる。文化は自他の相互理解を媒介するものであるとともに、自他をまた鋭く区別するものでもある。講義では文化を人間を取り巻く環境としてとらえる文化環境論的視点から、(1)環境と文化の関連について原理的・基礎的考察を試み、(2)九州地域をフィールドとして環境と文化をめぐる具体例を取り上げ、(3)アジアをフィールドとして環境と文化をめぐる具体例を取り上げる。これらによって受講生諸君が文化と環境の新しい理解に触れ、自他のそれぞれの独自性をふまえた相互交流と相互浸透にふさわしい新しいコミュニケーションのあり方を模索することを期待する。</p> <p>授業は環境科学部文化講座の9名の教官がリレー方式で担当する</p>								
テキスト、教材等								
テキストには長崎大学文化環境研究会編『環境と文化』（九州大学出版会 2000年3月、500円）を用いる。								
対象学生	成績評価の方法					オーガナイザー研究室		
全学部	成績は出席状況ないし毎回の小レポートと講義終了後の課題レポートにより評価する							
授業計画								
第1回	10月3日	オーガナイザー他	オリエンテーション					
第2回	10月10日	吉田雅章	環境問題と文化					
第3回	10月17日	池田幸恵	遣唐使と日本文化					
第4回	10月24日	若木太一	唐寺・唐人屋敷をめぐる文化交流					
第5回	10月31日	正木晴彦	比較文化的視点から見た中島川石橋群(1)					
第6回	11月7日	正木晴彦	比較文化的視点から見た中島川石橋群(2)					
第7回	11月14日	松田雅子	長崎とイギリス—もうひとつの交流400年(1)					
第8回	11月28日	松田雅子	長崎とイギリス—もうひとつの交流400年(2)					
第9回	12月5日	佐久間正	近世対馬と陶山訥庵					
第10回	12月12日	福島邦夫	九州沿岸部離島における巫女の伝統					
第11回	12月19日	連清吉	東アジアの文化環境の形成					
第12回	1月9日	高實康稔	近代日本と歴史意識(1)					
第13回	1月23日	高實康稔	近代日本と歴史意識(2)					
第14回	1月30日	オーガナイザー	まとめ					